

区立板橋第六小学校改築基本設計書

令和8年3月

設計主旨

■基本構想・基本計画で定めた新しい板橋第六小学校のコンセプト

[学習・教育]

変化に対応しやすい柔軟な学習空間の形成

- ・学校全体で多様な体験・学習・教育を受け止める学びの場
- ・児童数増減に柔軟に対応しやすい教室など将来の変化に配慮した校舎

[生活・居心地]

様々な体験と出逢いを大切に
豊かな生活環境の創出

- ・好奇心を触発する様々な出会い、人と人の出逢いを大切にできる環境
- ・自律と自立を支援し、多様な選択肢のある空間を大切に施設

[安全・安心]

安全が安心を生み児童と地域を守る
みんなの家の形成

- ・死角が少なく、見渡せる環境とケガや衝突が起こりにくい工夫により、安全な生活の場
- ・児童への防犯を高め、地域の命を守る、安心して過ごせる学校

[環境・緑化]

健やかな心と体を育成する
多様な居場所の提供

- ・遊具や球技が思い切りできる校庭や様々な場所で体を動かしたくなる屋外環境
- ・緑を大切に憩いとくつろぎがある環境や明るく風が通る快適な校舎

[地域・歴史]

歴史を継承し
地域と子どもの夢と希望を育む
まちの施設づくり

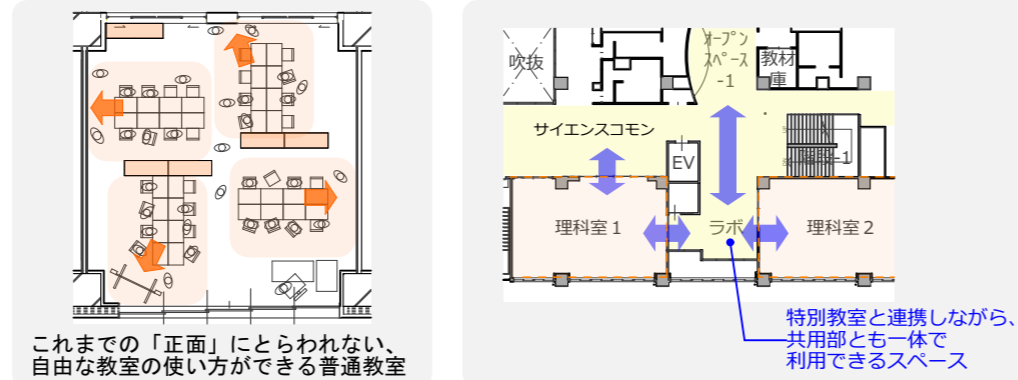
- ・100周年を迎える歴史に支えられ地域に根差した共育・共働による生涯学習施設
- ・大山駅周辺地区として地域に開かれ、にぎわいを活性化する地域コミュニティ拠点

※板橋第六小学校改築計画基本構想・基本計画報告書より抜粋

■本計画のポイント

新しい体験・経験の場をつくる

普通教室の壁の四面全てで大小の黒板・ホワイトボードを利用でき、教室の前後を固定しない、方向性のない教室をつくります。また、これまでの標準的な特別教室の準備室空間を見直し、共用部とも連携が可能なスペースとします。



これまでの「正面」とらわれない、自由な教室の使い方ができる普通教室

特別教室と連携しながら、共用部とも一体で利用できるスペース

小学校と地域みんなが使いやすい場をつくる

小学校と地域の接点として、さまざまな交流が生まれるピロティと多目的ホールを設けます。また、一足制により下足箱がなく、広々としたエントランスホールは、校務センターとオープンにつながります。

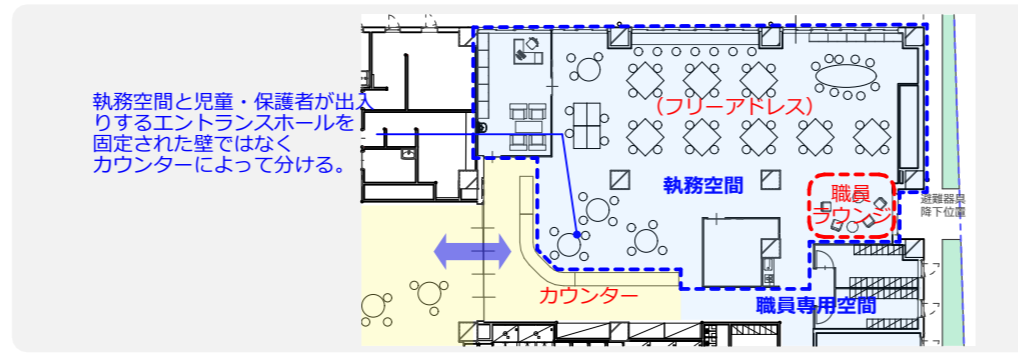


ピロティ

エントランスホール

先生にとって居心地の良い環境をつくる

校務センターはフリーアドレスに対応可能とし、働き方に合わせてレイアウト変更が容易な設えとします。カウンター内の執務空間には職員ラウンジを設け、先生が働きやすい環境を整えます。

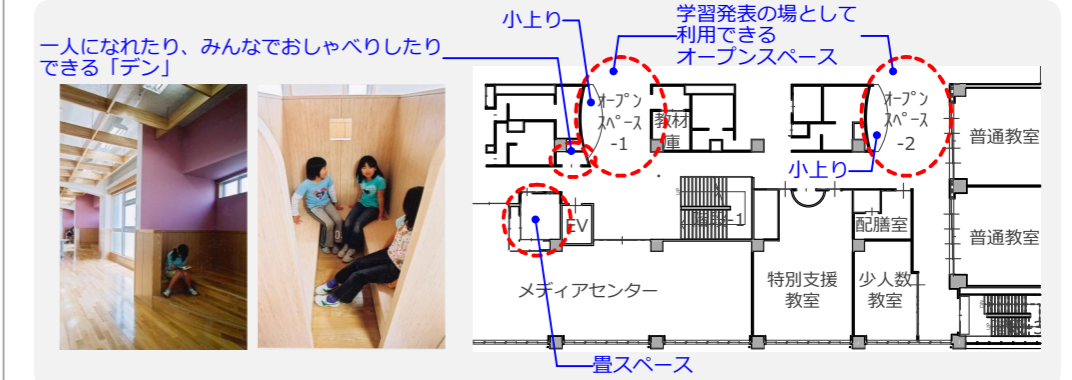


執務空間と児童・保護者が出入りするエントランスホールを固定された壁ではなくカウンターによって分ける。

(フリーアドレス)

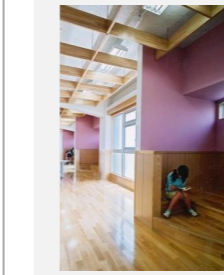
一人一人に寄り添った場所をつくる

共用部の各所に自由に集まれる場所、本を読める場所、発表できる場所、リラックスできる場所などを設け、施設全体に子ども達のための最適な学びの場・憩いの場をつくります。



一人になれたり、みんなでおしゃべりしたりできる「デン」

学習発表の場として利用できるオープンスペース



学校全体を最大限に活用する

子ども達がほっと一息ついたり、ともだちと遊んだりできる屋上スペースや、オフシーズンも運動スペースとして利用可能な屋内プール（可動床）をつくります。



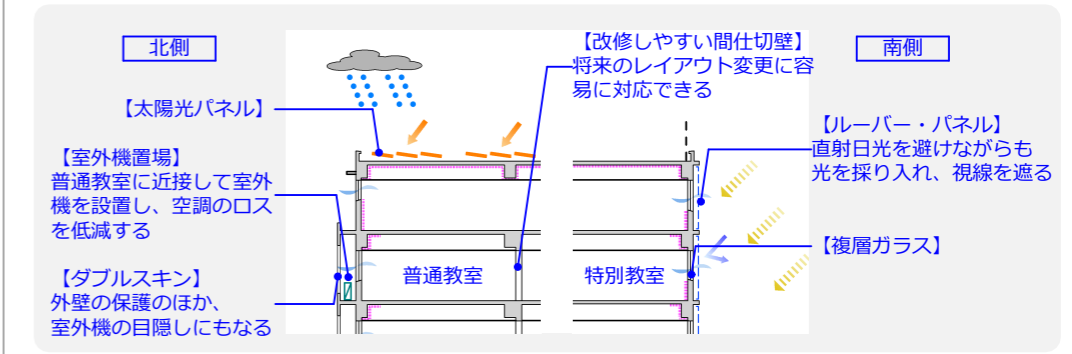
屋上スペース

プールシーズン

オフシーズン

環境に配慮した建物をつくる

北側外壁はダブルスキンとし、空調室外機を各教室の近くに配置することで、空調のロスを低減します。南側外壁は、直射日光による熱負荷の低減と、向かい合う建物との視線をコントロールするためにルーバーやパネル等を設置します。



北側

南側

【太陽光パネル】

【室外機置場】

【ダブルスキン】

普通教室

特別教室

【改修しやすい間仕切壁】

【ルーバー・パネル】

【複層ガラス】

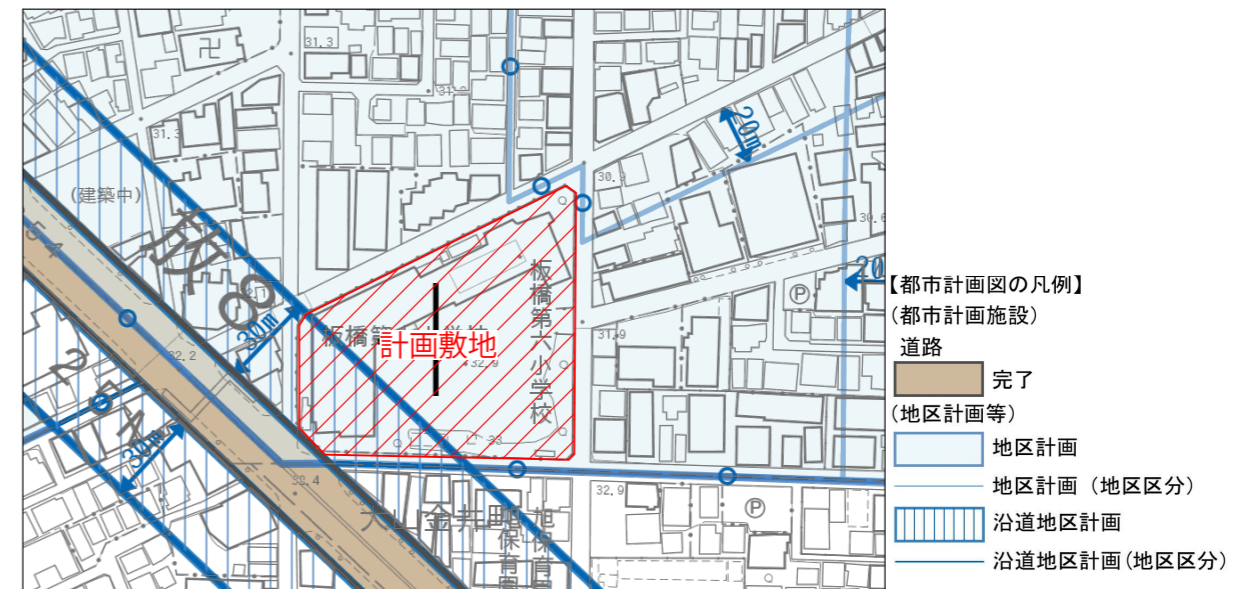
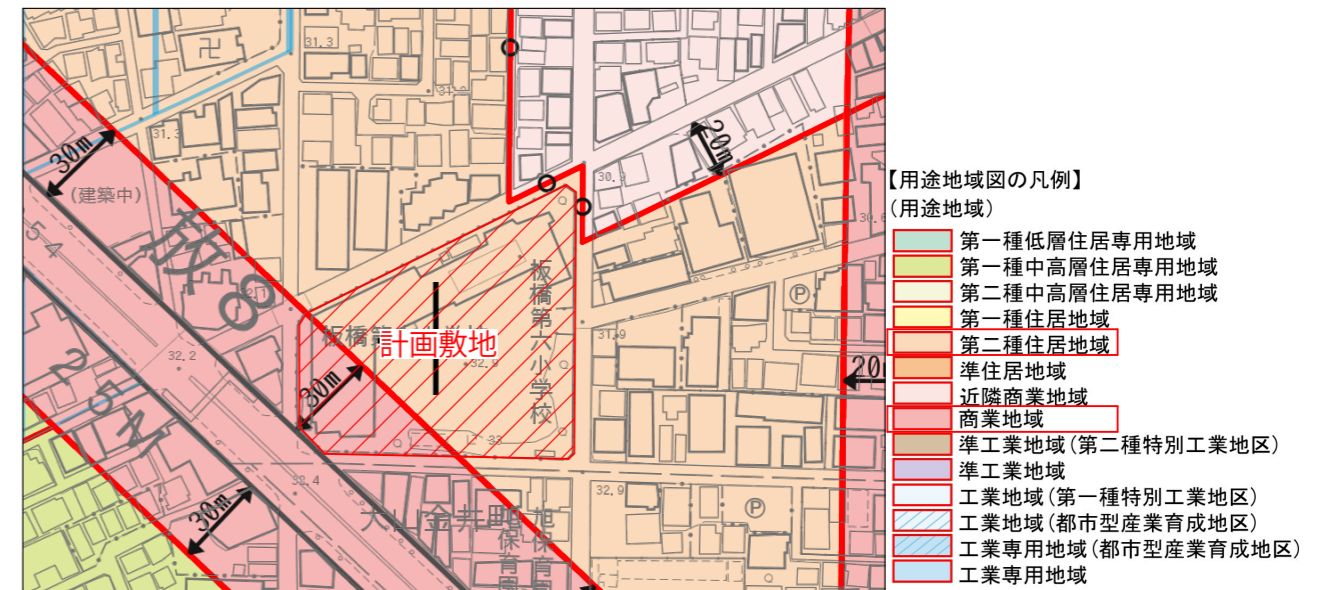
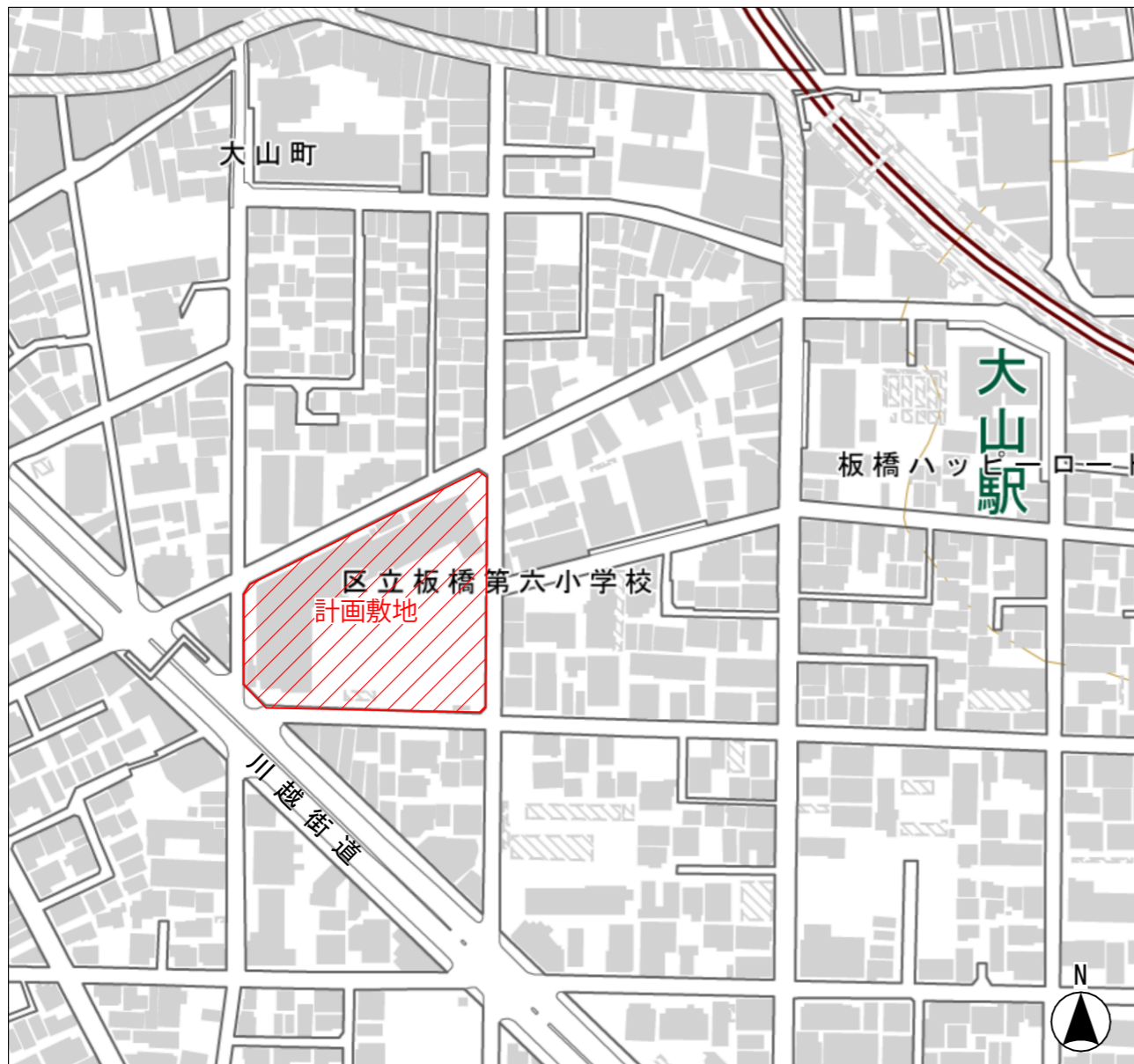
計画条件の整理

(1) 敷地概要

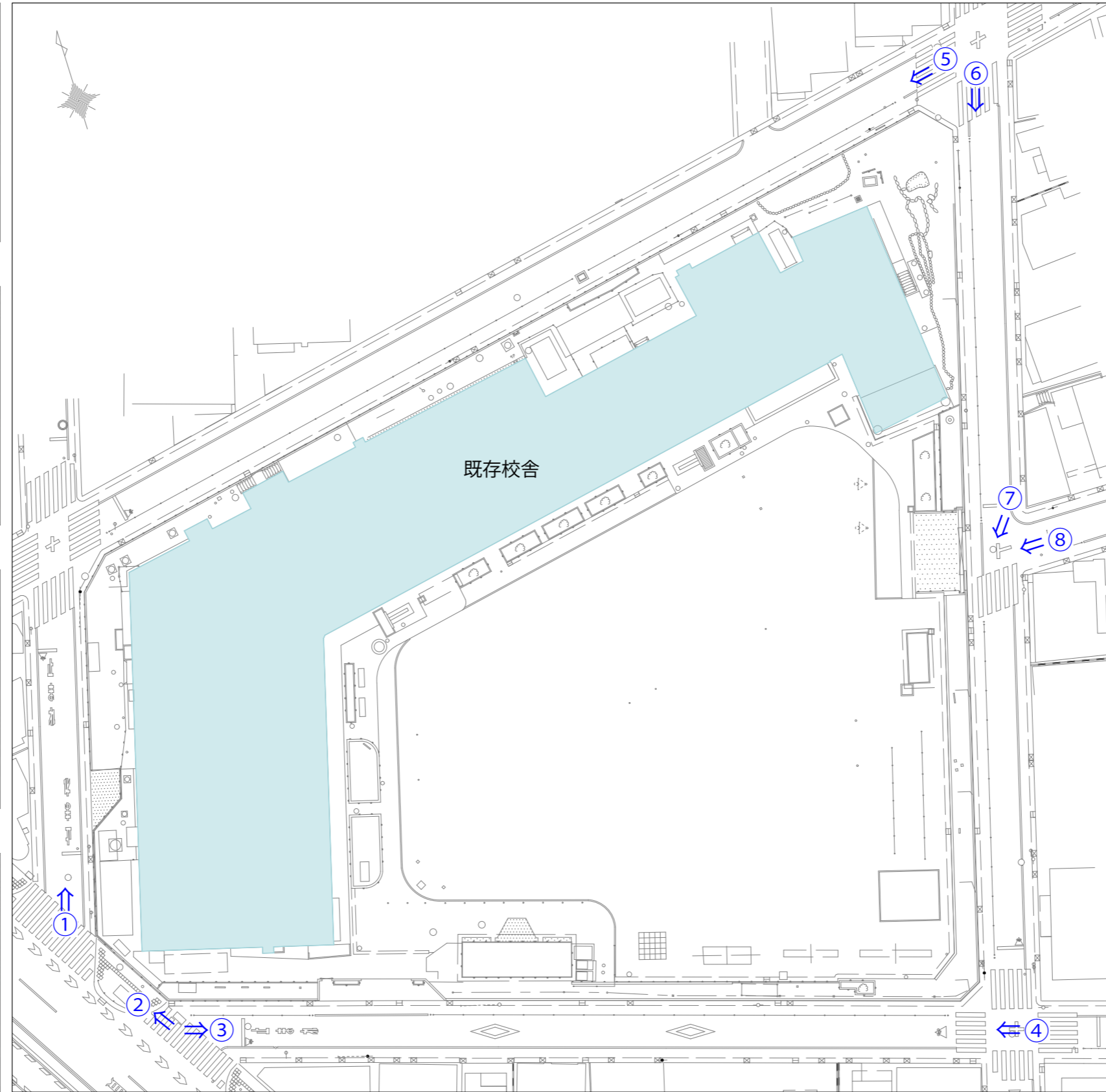
- 所在地 : 板橋区大山町13番1号
- 敷地面積 : 6,138.31㎡ (測量図より)
- 周辺道路 : (西側) 区道第1900号線 (法42条1項1号) 6.13~6.26m
 (北側) 区道第2086号線 (法42条1項1号) 6.31~6.44m
 (東側) 区道第48-2号線 (法42条1項1号) 6.20~6.36m
 (南側) 区道第32-1号線 (法42条1項1号) 6.24~6.34m
 (南西側) 一般国道254号 (法42条1項1号) 25m<川越街道>
 (道路台帳より)

(2) 都市計画概要

- 用途地区 : 商業地域 (防火地域)、
 第2種住居地域 (準防火地域)
- 都市計画区域 : 市街化区域
- 建ぺい率 : 80% (商業)、60% (第2種)
- 容積率 : 500% (商業)、300% (第2種)
- 高度地区 : 種別なし-最高限度45m、最低限度7m (商業)、
 第三種高度地区-最高限度35m (第2種)
- 日影規制 : 5時間-3時間/4m (第2種)
- 地区計画 : 大山駅西地区地区計画
- 沿道地区計画 : 板橋区国道254号線 (川越街道) A地区 (商業)
- 景観計画区域 : 一般地域



(3) 敷地の現況・現況写真



計画概要

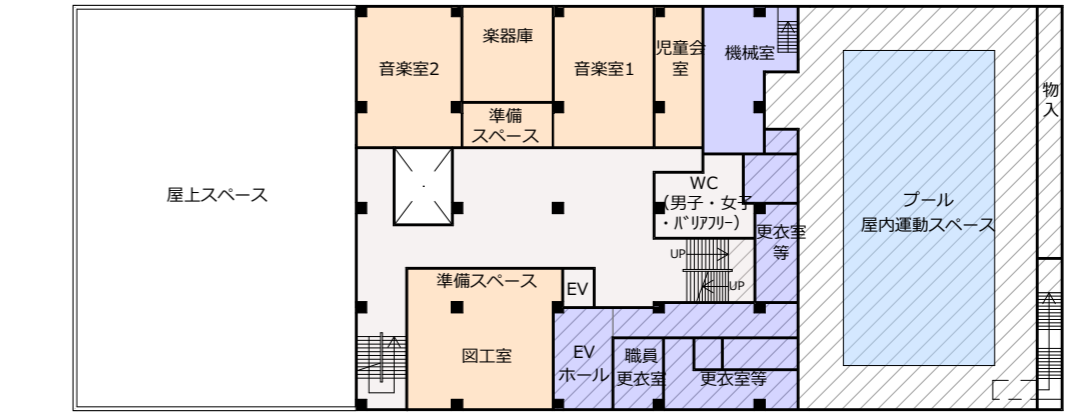
- 場所 : 板橋区大山町13番1号
- 用途地域 : 商業地域、第2種住居地域
- 防火地域 : 防火地域、準防火地域
- 指定建ぺい率 : 80%、60%
- 指定容積率 : 500%、300%
- 敷地面積 : 6,138.31㎡
- 建物規模 : 地上5階建て 鉄筋コンクリート造 (一部 鉄骨造)
- 建築面積 : 2,779.48㎡ (建ぺい率45.28%)
- 延べ面積 : 10,951.83㎡ (容積対象10,829.75㎡、容積率176.43%)
- 最高高さ : 22.16m



配置図兼1階平面図

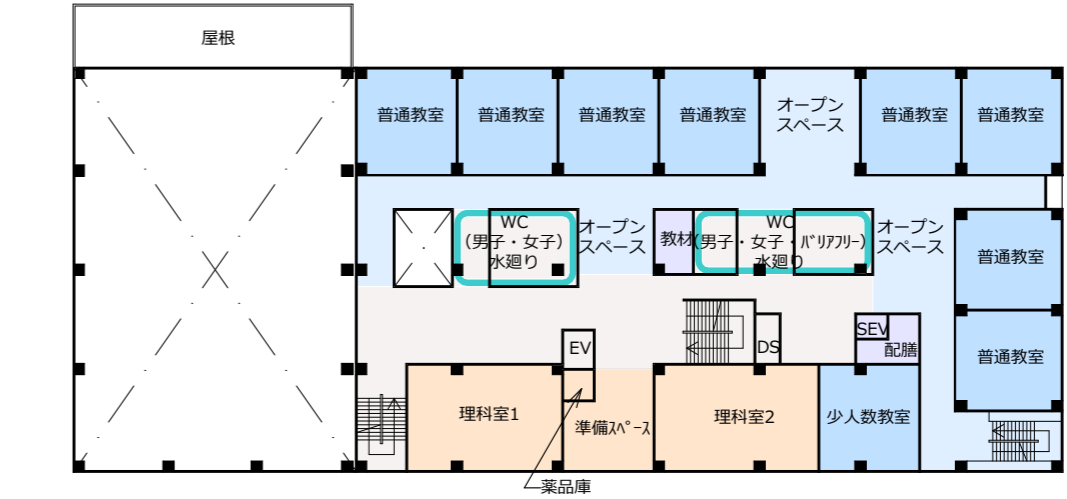
配置計画

- 現在のグラウンドにあたる敷地南側に矩形の校舎を配置し、北側をグラウンドとして利用します。
- 敷地は周囲を道路に囲まれており、敷地と道路の高低差があるため、人・車両の出入りは現状と同じく東側・南側に設けます。
- 周囲の自主管理歩道の整備とあわせて緑地帯を設け、広がりのある外部空間をつくります。

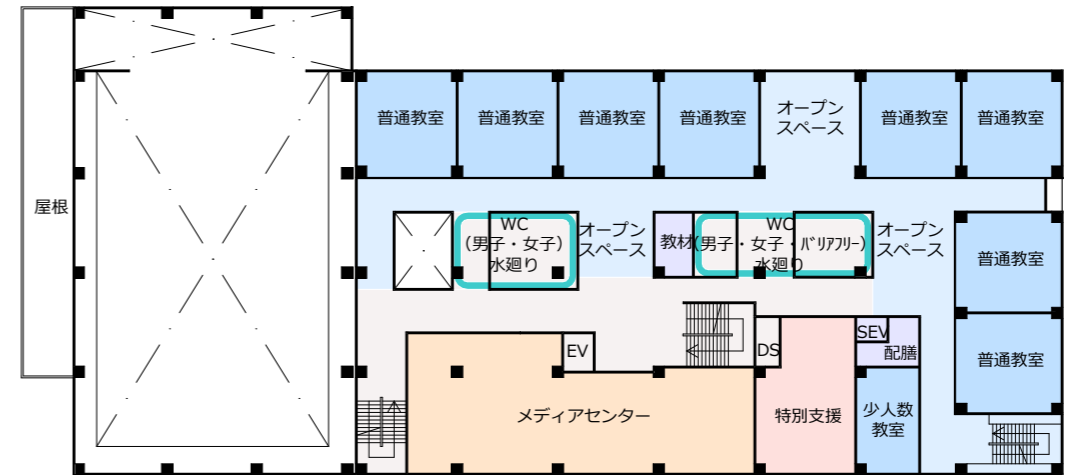


プールサイドレベル

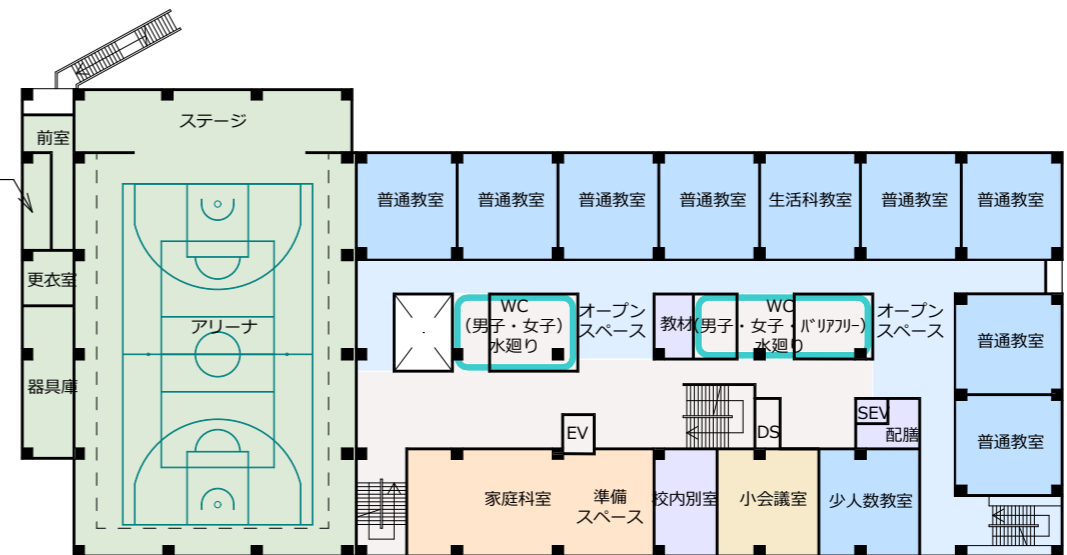
5階平面図



4階平面図



3階平面図



2階平面図

平面計画

(1) 基本方針・ゾーニング計画

- ・1階中央にピロティを設け、南側道路から北側グラウンドへ通り抜けられる計画とします。
1階には地域利用や児童の動線を考慮し、管理諸室とあいキッズ、多目的室（地域連携室）を設けます。
- ・南側道路に面した多目的ホールは学年集会や異学年交流だけでなく、地域利用も可能です。外部から直接出入りでき、室内にはミニキッチン・便所を設けており、学校が休みの日にも地域のイベント・行事などで使用できます。
- ・2～4階に普通教室をまとめ、さらに普通教室と同等の広さのオープンスペースや少人数教室を設けており、将来、児童数が増加した場合にも、それらを転用することで低学年の登下校の移動負担が少なくなるように配慮しています。
- ・児童の屋外空間としては、地上のグラウンドのほか、ピロティ、アリーナ棟の屋上スペース、また4階ラボにはテラスを設ける計画としています。いつでも自然に触れられるように、緑化やビオトープの設置などに配慮します。

(2) 動線計画

【児童・職員】

- ・各階（2～4階）の中央には水廻りや教材庫をまとめ、北側の普通教室と南側の特別教室や階段を結ぶ通路を設けています。授業で普通教室の扉を開放していたり、廊下まで広く利用している場合には、それらの通路を通して教室移動・上下階移動ができるので、授業を妨げることはありません。
- ・登校時は、一足制により下足箱がなく、広々としたエントランスホールを介することで、混雑を避けることができます。2～4階の間の上下移動には3ヶ所の階段を利用することで、効率的に移動できる計画としています。

【地域住民】

- ・正門からピロティを通して多目的室へアクセスできます。また、グラウンドに面しており、イベント時には校庭を見渡すことができます。
- ・多目的ホールは正門の外から直接出入りできるため、夜間などの学校時間外でも利用しやすい計画としています。

【あいキッズ】

- ・ピロティを挟んでホールと向かい合うように出入口を設け、平日は放課後にホールからピロティを通してあいキッズ玄関に出入りできます。また学校が休みの日には南側出入口を利用できます。
- ・校舎と同じく一足制とし、昇降口を省スペース化してこどもの活動スペースを広く確保しています。
- ・雨天の場合でもピロティを利用して遊ぶことができます。

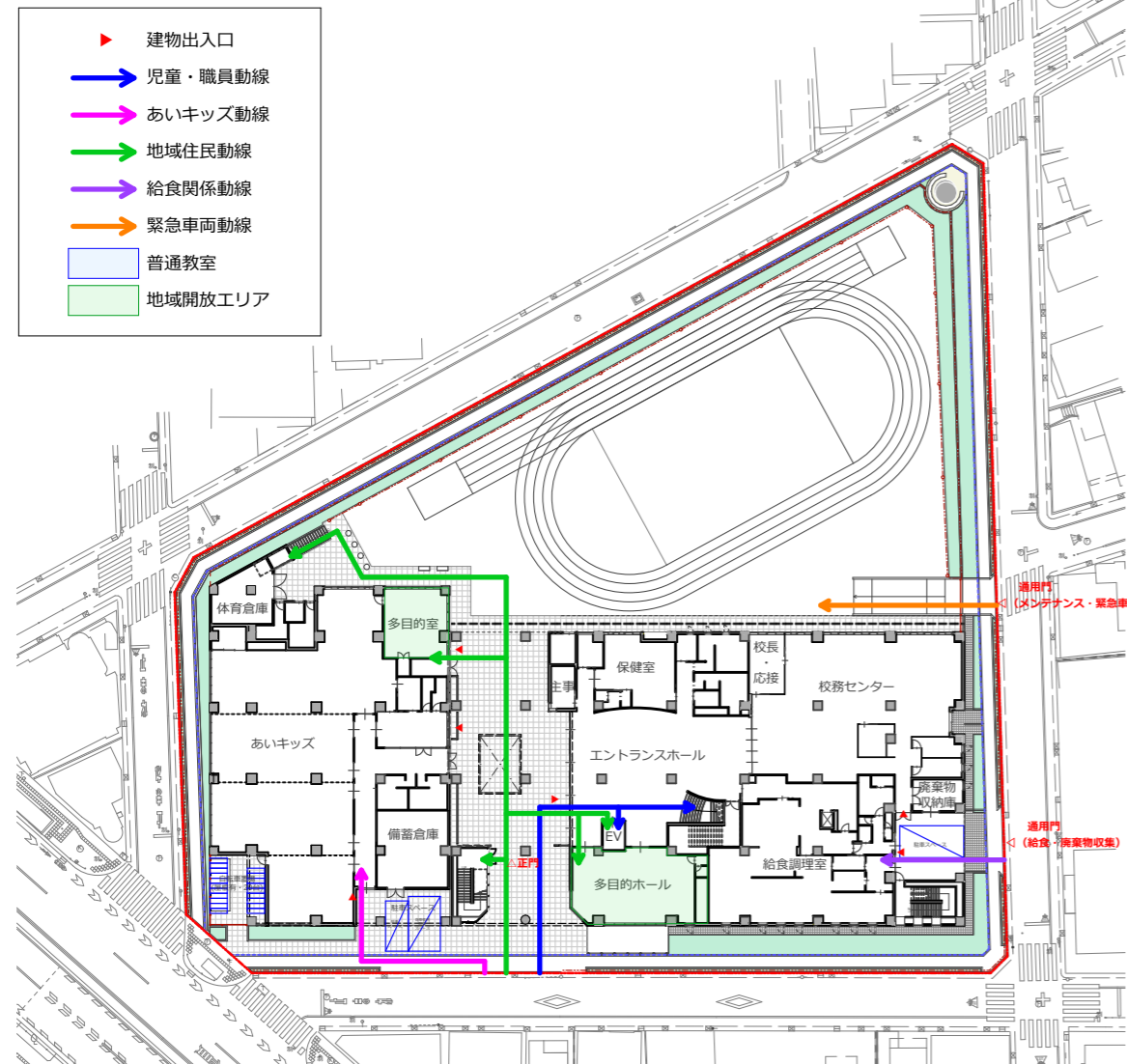
【給食関係】

- ・朝の食材搬入や調理員の出入りには東側道路に面した専用出入口を利用するので、学校運営時間の影響を受けず、動線を確保できます。

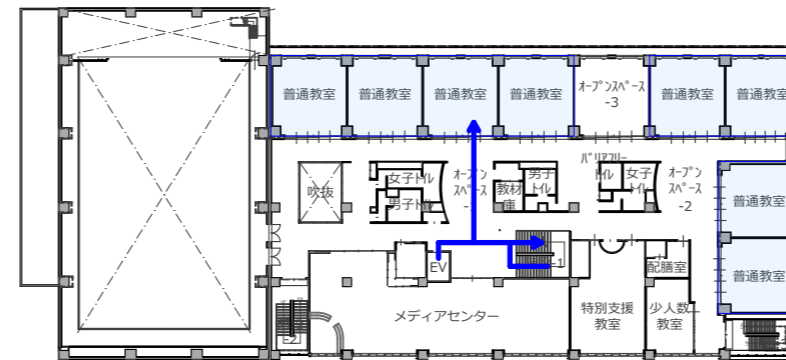
【緊急車両】

- ・東側通用門を通して直接グラウンドに進入できます。保健室にはグラウンドに面して出入口を設けており、緊急車両が保健室前に近づけるので、迅速なストレッチャー搬送が可能です。

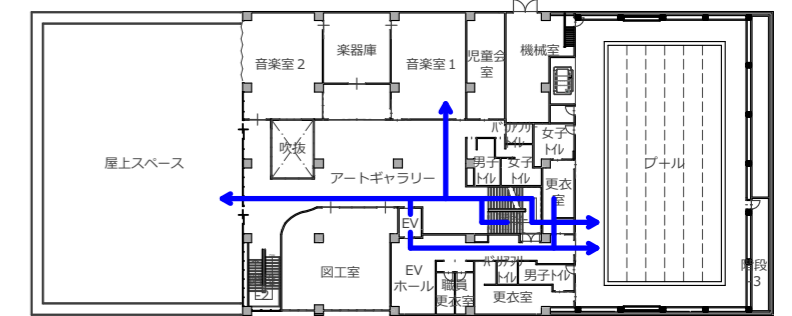
凡例



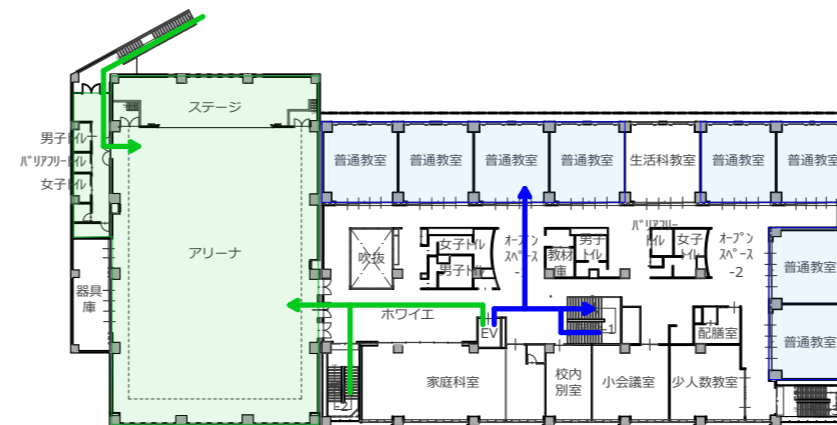
配置図・1階



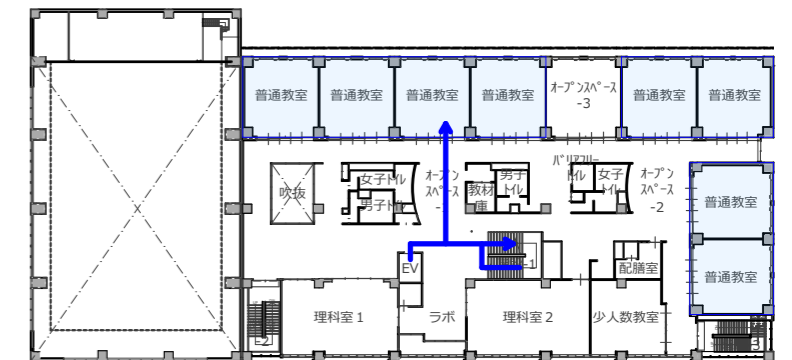
3階



5階



2階



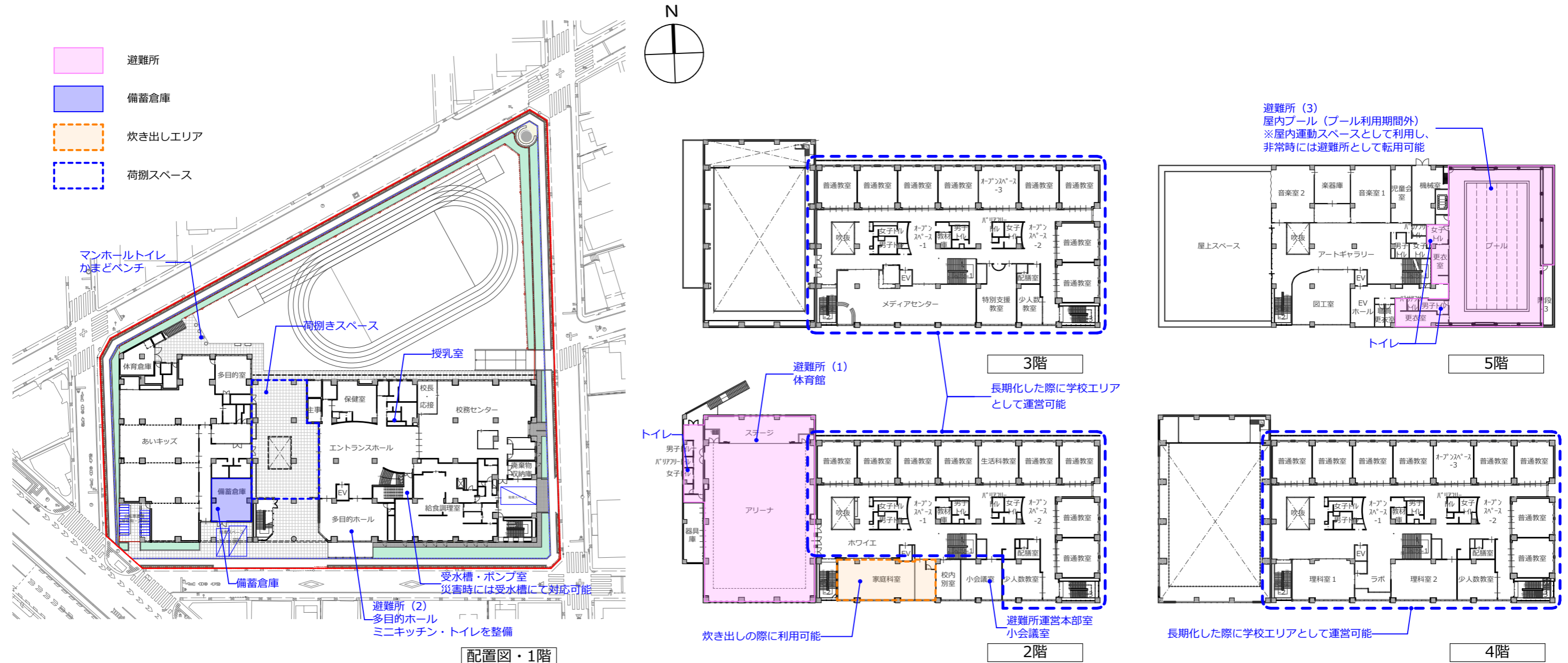
4階



防災計画

■避難所としての機能

- ・地域の避難所として、2階アリーナの開放が想定されます。グラウンドから直接2階前室へアクセスできる屋外階段を設けており、前室にはアリーナ用トイレを設置しているため、避難所として利用する際には、体育館棟で完結します。また、校舎棟のエレベーターを使うことで、階段を利用せずに2階アリーナへアクセスすることも可能です。
- ・1階ピロティでは雨に濡れずに活動することができます。災害時の避難所運営にあたり、物資の搬入・荷捌きのスペースとして利用したり、外気にふれて体を動かせる場所として利用したりできます。一般車両の通行には十分なスペースがあります。
- ・5階屋内プールは昇降床となっているので、床を上げた状態で屋内多目的スペースとして、アリーナに準ずる使い方が可能です。
- ・備蓄倉庫を設け、十分な物資を保管できる空間を確保しています。備蓄倉庫は南側道路に面して設け、通常の備蓄品の入れ替えなど、学校授業に影響せず作業がしやすい位置に配置しています。
- ・グラウンド横にマンホールトイレ、かまどベンチを設置します。



外観イメージパース



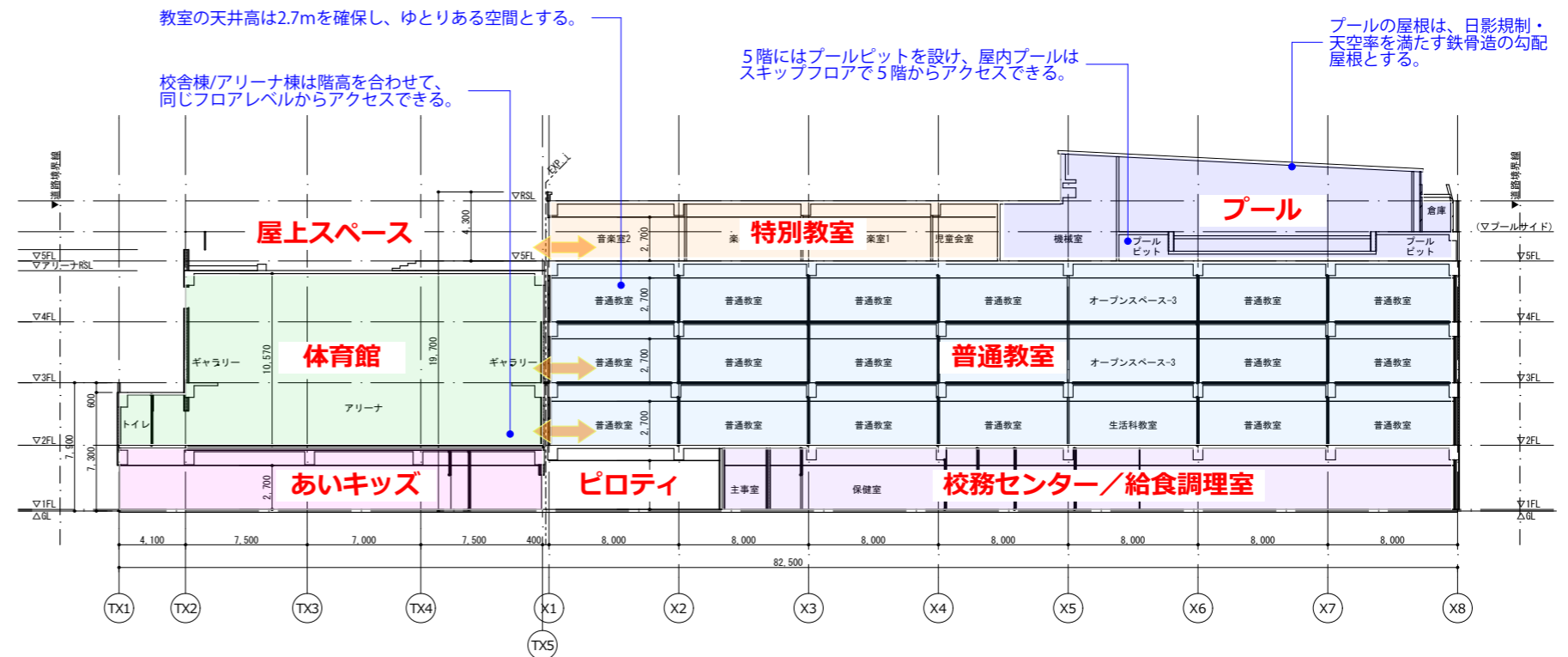
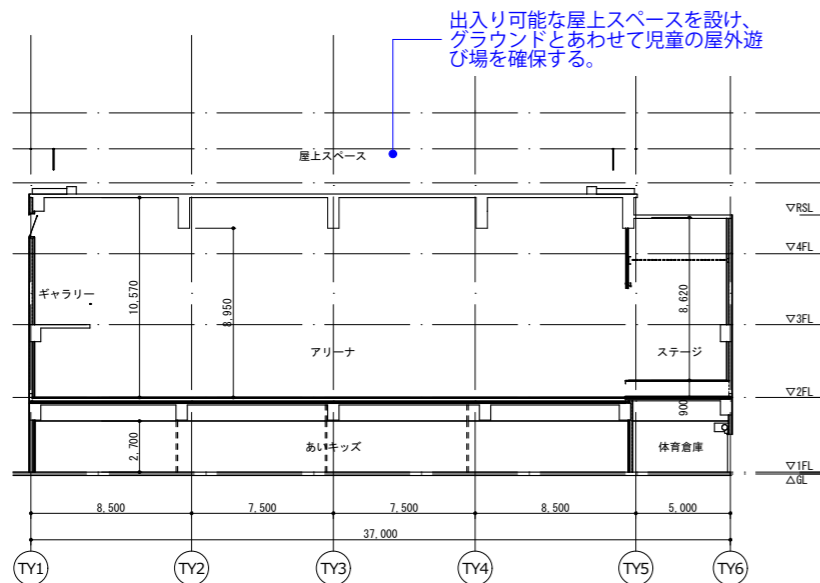
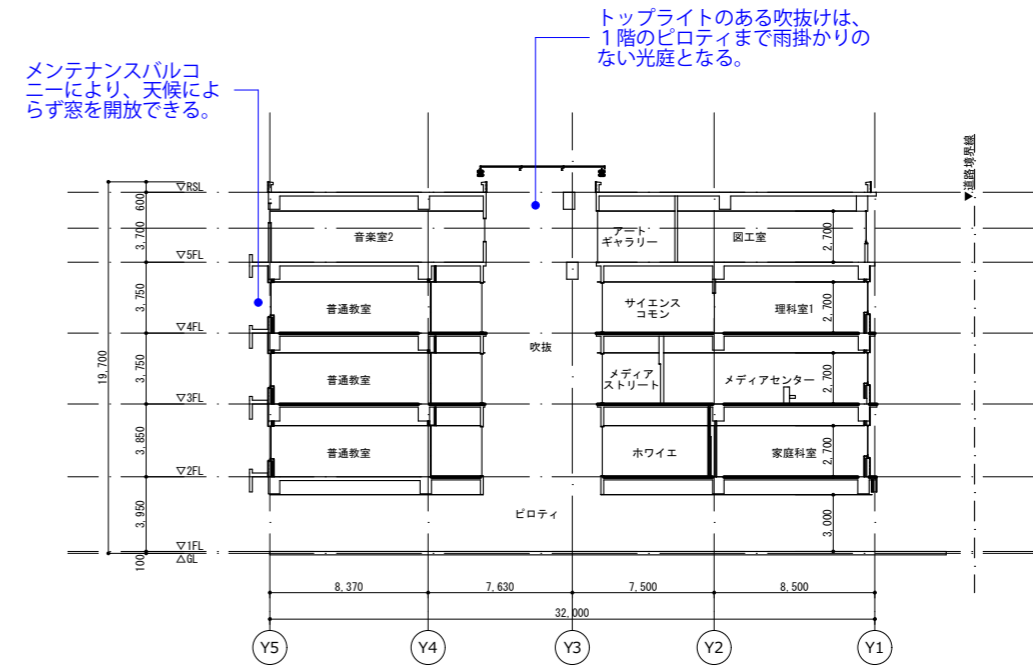
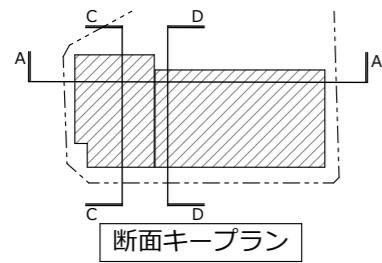




断面計画

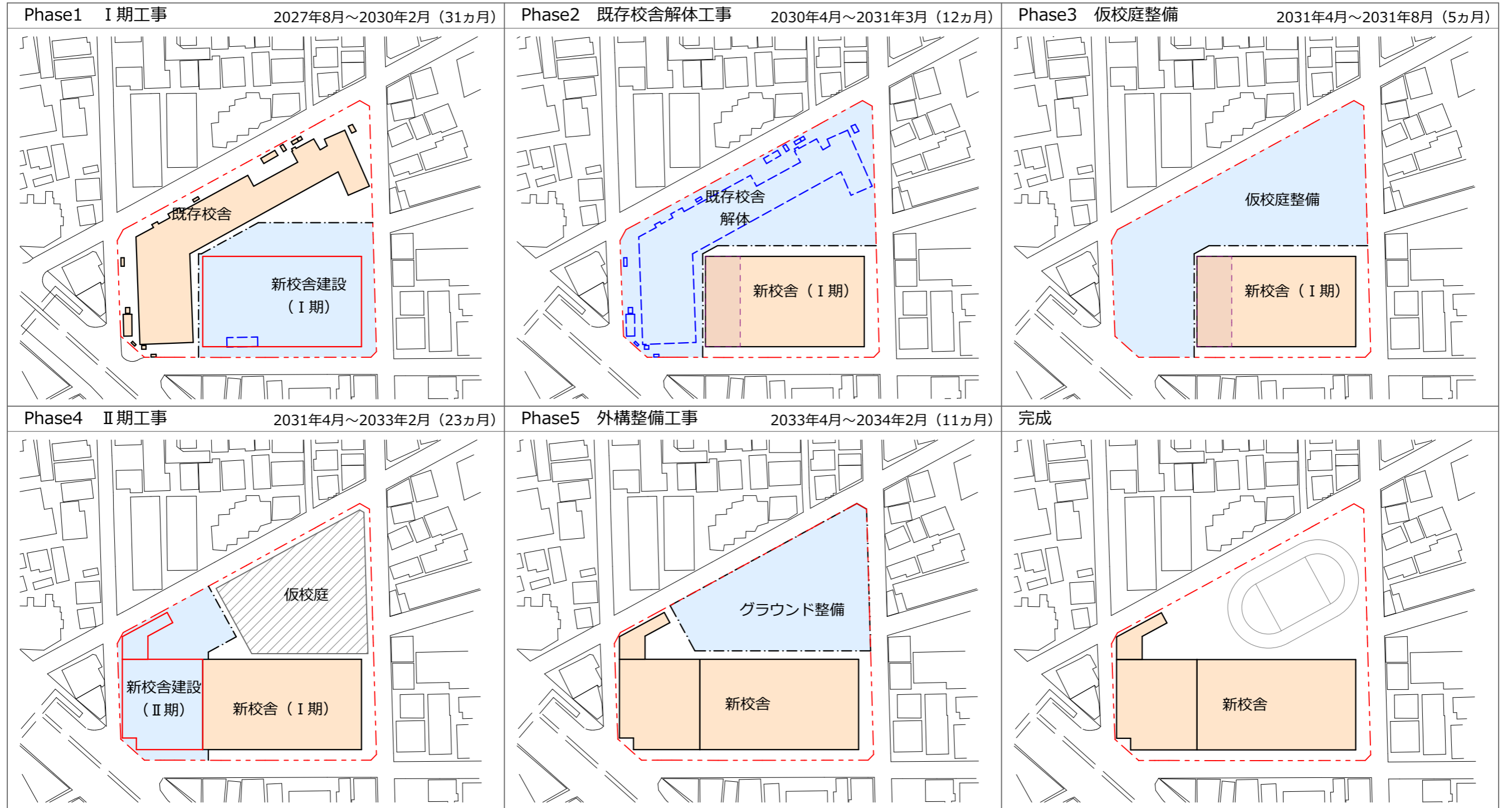
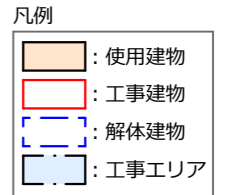
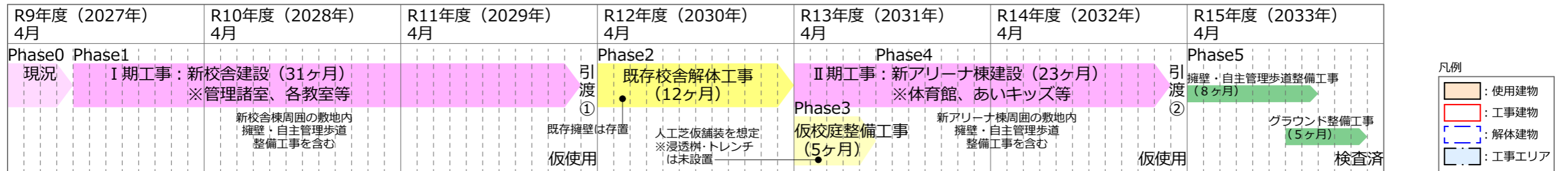
■断面計画の考え方

- 校舎棟は5階建てとします。プールピットを5階に設け、プールサイドは図工室や音楽室の5階フロアか階段・エレベーターを利用してアクセスする計画としています。エレベーターは前後二方向に出入口を設けることで全階バリアフリーで移動できます。
- アリーナ棟は1階あいキッズと2階アリーナで構成されています。校舎棟との階高を合わせ、2階では校舎とアリーナを段差なく行き来でき、3階では校舎からアリーナギャラリーへ出入りすることができます。アリーナ上の屋上スペースは校舎棟5階から利用する計画としています。
- 特にアリーナについては、床仕上の衝撃吸収や壁の吸音を考慮し、アリーナでの振動や歓声が下階・隣の部屋に影響しないように配慮します。
- 構造上、校舎棟とアリーナ棟はEXP. Jで分節されますが、校舎棟の階段やエレベーターを兼用してアリーナ棟へアクセスでき、無駄のない合理的な断面計画としています。
- 建物高さは日影制限、天空率を満たす高さとし、各階高を設定しています。普通教室をはじめ、各教室は天井高2.7mを確保し、ゆとりある空間の広さとしています。



工事工程計画

■工事工程・工事ステップについて



・II期工事中の運用方針
あいキッズは、1階多目的ホールと空き教室を利用し、具体的な部屋や時間帯は学校調整の上、決定する。